

原子力施設環境放射線調査報告書における 調査結果〔表〕の記載様式変更について

●従前の記載

表 2-3 γ線放出核種分析結果

【令和6年度第4四半期報 p20 表2-3 (抜粋)】

試料の種類	単位	定量 下限値	セシウム-137					
			県		事業者		平常の変動幅	
			検体数	測定値	検体数	測定値		
海水	mBq/L	6	3	ND	2	ND	ND	
海底土	Bq/kg 乾	3	△	△	△	△	ND	
海洋試料 ヒラメ、カレイ、 ウスメバル、 コウナゴ、アイナメ	Bq/kg 生	0.4	※	欠測	△	△	ND	
ホタテ、アワビ			△	△				
コンブ			△	△				
タコ			△	△				

※ ウスメバルは不漁により採取できなかったため、欠測とした。

【評価委員会（R7.7）に おける御意見】

欄外でウスメバルが欠測である旨記載があるが、ヒラメ等他の試料がどうであったのかが分かりにくい。

1

●記載様式の変更内容

従前は、「試料の種類」ごとに測定値をまとめて記載してきたが、
今後は、試料ごとに測定値を記載する。

2

四半期報

【従 前】

試料の種類	単位	定量 下限値	セシウム-137				平常の変動幅	
			県		事業者			
			検体数	測定値	検体数	測定値		
海洋試料	ヒラメ、カレイ、 ウスメバル、 コウナゴ、アイナメ	Bq/kg 生	0.4	※	欠測	△	△	ND

※ ウスメバルは不漁により採取できなかったため、欠測とした。

【変更後】

試料の種類	単位	定量 下限値	セシウム-137				平常の変動幅	
			県		事業者			
			検体数	測定値	検体数	測定値		
海洋試料	ヒラメ	Bq/kg 生	0.4	△	△	△	△	ND
	カレイ			△	△	-	-	
	ウスメバル			0※	欠測	-	-	
	コウナゴ			△	△	-	-	
	アイナメ			-	-	△	△	

※ ウスメバルは不漁により採取できなかったため、検体数を1から0とした。

年 報

【従 前】

試料の種類	単位	定量 下限値	セシウム-137					
			県		事業者		平常の変動幅	
			検体数	測定値	検体数	測定値		
海洋試料	ヒラメ、カレイ、 ウスメバル、 コウナゴ、アイナメ	Bq/kg 生	0.4	2※	ND	2	ND	ND

※ ウスメバル、コウナゴは不漁により採取できなかったため、検体数を4から2とした。

【変更後】

試料の種類	単位	定量 下限値	セシウム-137				平常の変動幅	
			県		事業者			
			検体数	測定値	検体数	測定値		
海洋試料	ヒラメ	Bq/kg 生	0.4	1	ND	1	ND	ND
	カレイ			1	ND	-	-	
	ウスメバル			0※	欠測	-	-	
	コウナゴ			0※	欠測	-	-	
	アイナメ			-	-	1	ND	

※ ウスメバル、コウナゴは不漁により採取できなかったため、検体数を1から0とした。